

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
 昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

日本海水学会誌
 第21巻～第30巻 (通巻109号～168号) 総目次
 昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

目 次		
1. 巻頭言	5. 2 海水および海水成分の化学	7. 7 欧亜における海水淡水化の現状
2. 挨拶	(1) 海水および海水成分の物性	7. 8 日中塩業技術交流団報告
2. 1 総会挨拶	(2) 分析法	7. 9 脱塩技術海外調査団報告
2. 2 祝辞	(3) 相律	8. 資料その他
3. 総説	(4) スケール	8. 1 資料
4. 講座	(5) 微量成分	8. 2 文献紹介
5. 報文	(6) 海水汚染	8. 3 ニュース
5. 1 海かん水の濃縮および脱塩	(7) 塩の品質	8. 4 会員寄書
(1) イオン交換膜法	(8) その他	8. 5 特別座談会
(2) 逆浸透法	6. 総合論文	
(3) 真空式蒸発法	7. 特集記事	
(4) フラッシュ蒸発法	7. 1 日本における塩水淡水化の現状	
(5) 冷凍およびガスハイドレート法	7. 2 第6回海水淡水化日米会議	
(6) 副産物	7. 3 欧米における海水淡水化の現状	
(7) 腐食防食	7. 4 第8回海水淡水化日米会議	
(8) その他	7. 5 第9回海水淡水化日米会議	
	7. 6 第10回海水淡水化日米会議	

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
1. 巻 頭 言					
塩業は聖業である	大平 正芳	21	1	1	1967
再び天日製塩塩田を調査して	安田 与七郎	21	3	83	1967
一水産学徒の妄語	川原 鳳策	21	4	125	1967
海水淡水化と塩	水谷 嘉隆	21	5	173	1968
生物学の立場から	藤山 虎也	21	6	219	1968
海水資源の総合開発	永井 彰一郎	22	1	3	1968
技術の進歩を背負うものは	石坂 誠一	22	2	161	1968
随想	園部 秀男	22	4	297	1968
視野を広く	新居 俊男	22	5	335	1969
“分離化学”の提案	山辺 武郎	22	6	363	1969
空想と現実	諏訪 小一郎	23	1	1	1969
月に思う	橋爪 正男	23	3	79	1969
海洋有限無限	室谷 寛	23	4	127	1970
第6回海水淡水化日米会議に関する特集号の発刊に際して	朝永 良夫	23	5	179	1970
日本海水学会を海洋開発の担い手に	山辺 武郎	23	6	245	1970
塩に関連する新しい研究課題	久保 輝一郎	24	1	1	1970
研究開発の組織について	瀬戸口 稔	24	4	137	1971
塩業審議会の答申とその技術的背景	内田 俊一	24	6	237	1971
海水淡水化海外調査団の調査報告について	山辺 武郎	25	1	1	1971
海洋開発と海水研究	三宅 泰雄	25	3	187	1971
会員諸氏の積極的な投稿を期待する	山辺 武郎	25	4	239	1972
第8回海水淡水化日米会議の開催にあたって	太田 暢人	25	5	303	1972
海水の化学的利用	中沢 治男	25	6	377	1972
海水利用あれこれ	植村 四郎	26	1	1	1972
会誌の編集方針についてお願い	石坂 誠一	26	3	121	1972
学会の事務を日本学会事務センターに委託するにあたって	野口 武	26	4	171	1972
貴重な文献	川添 健一	26	5	231	1973
海水淡水化について	笹倉 鐵五郎	26	6	303	1973
会誌の編集について	山辺 武郎	27	3	135	1973
海の水と土木技術	瀧山 養	27	4	197	1973
造水技術の開発について	村山 義夫	27	5	253	1974

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
使用海水のPotentiality	半沢 信久	27	6	307	1974
学会の性格について	武藤 義一	28	2	83	1974
日本海水学会欧亜調査団の調査報告について	山辺 武郎	28	4	195	1974
人類の歴史と科学に想う	諏訪 小一郎	28	5	319	1975
未利用資源としての海水中微量溶存物質	加藤 順	28	6	377	1975
相律四半世紀	岡 俊平	29	1	1	1975
25年を回顧して	野口 武	29	3	97	1975
特集号“日中塩業技術交流団報告”の発刊によせて	杉 二郎	29	4	129	1975
これからの道	安藤 誠太	29	5	185	1976
塩事業の近況	斉藤 慶二	29	6	245	1976
「海水の化学」と分析化学	重松 恒信	30	1	1	1976
海洋学と海水学	三宅 泰雄	30	3	117	1976
調査団団長として	山辺 武郎	30	4	175	1977
第1回アメリカ大陸脱塩会議に出席して	石坂 誠一	30	5・6	259	1977

2. 挨拶

2.1 総会挨拶

金沢市における第18回総会	杉 二郎	21	2	39	1967
金沢市における第18回総会	鈴木 篁	21	2	40	1967
金沢市における第18回総会	東海林 武雄	21	2	41	1967
福岡市における第19回総会	鈴木 篁	22	3	233	1968
福岡市における第19回総会	安田 与七郎	22	3	234	1968
福岡市における第19回総会	東海林 武雄	22	3	235	1968
名古屋市における第20回総会	山辺 武郎	23	2	39	1969
名古屋市における第20回総会	東海林 武雄	23	2	40	1969
東京都における第21回総会	山辺 武郎	24	2	43	1970
東京都における第21回総会	山辺 武郎	24	2	43	1970
大阪市における第22回総会	山辺 武郎	25	2	123	1971
大阪市における第22回総会	岡 俊平	25	2	123	1971
清水市における第23回総会	岡 俊平	26	2	59	1972
清水市における第23回総会	野口 武	26	2	59	1972
岡山市における第24回総会	野口 武	27	2	77	1973

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
岡山市における第24回総会	武藤 義一	27	2	78	1973
松山市における第25回総会	武藤 義一	28	3	139	1974
松山市における第25回総会	武藤 義一	28	3	139	1974
京都市における第26回総会	武藤 義一	29	2	31	1975
京都市における第26回総会	石坂 誠一	29	2	33	1975
福岡市における第27回総会	石坂 誠一	30	2	61	1976

2.2 祝辞

金沢市における第18回総会	石橋 雅義	21	2	43	1967
金沢市における第18回総会	中西 陽一	21	2	45	1967
福岡市における第19回総会	亀井 光	22	3	237	1968
福岡市における第19回総会	岡本 正幹	22	3	238	1969
福岡市における第19回総会	阿部 源蔵	22	3	238	1968
名古屋市における第20回総会	桑原 幹根	23	2	42	1969
名古屋市における第20回総会	杉戸 清	23	2	42	1969
清水市における第23回総会	速水 頌一郎	26	2	61	1972
松山市における第25回総会	芦田 謙治	28	3	140	1974
京都市における第26回総会	半沢 信久	29	2	35	1975
福岡市における第27回総会	石崎 貞正	30	2	62	1976

3. 総 説

海塩の晶出と結晶形態	室谷 寛	21	2	49	1967
最近のせんごう技術	堺 嘉之	21	3	85	1967
海水処理に対するイオン交換法の応用について	山辺 武郎	21	4	127	1967
原子力を利用する南カリフォルニアの海水淡水化計画	石坂 誠一	21	5	175	1968
海水中の微量成分	重松 恒信	21	6	221	1968
海水用金属材料	下平 三郎	22	2	163	1968
ポリエチレンフィルムのヒートシールについて	森田 豊	22	3	243	1968
イオン交換膜製塩法の現状	村上 正祥	22	4	298	1968
新しい有機試薬（主として海水成分の分析に関して）	上野 景平	22	5	337	1969
イオン交換膜電気透析法の化学工学的考察	北本 朝史, 高島 洋一	23	3	81	1969
インターナショナル再結晶プロセスについて	加峯 正美, 石川 哲三, 飯島 正明	24	1	3	1970
日本ソーダ工業の現状と将来	鹿島 要	24	2	49	1970

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海水の直接利用における取水設備	磯 舜也	24	4	139	1971
海水を原料としたマグネシア・クリンカーおよびマグネシウム工業の現況と将来性について	部坂 恒夫	26	1	3	1972
沿岸水域の水質汚濁について	岡部 史郎	26	5	233	1973
原料塩からみたソーダ工業の展望	山田 清	29	1	3	1975
総量規制対応技術と海水処理技術	石坂 誠一	29	2	41	1975
工業廃水における濃縮および分離操作	吉田 高年	29	3	99	1975
海水からウランを採る - 研究の現状と今後の課題	尾方 昇	30	1	3	1976
海塩類に関するメカノケミストリー	久保 輝一郎	30	2	67	1976
4. 講 座					
食塩中の鉄粉の除去	長岡 幸男	21	1	23	1967
自家用火力発電所の計画と課題	山門 金三郎	21	5	199	1968
分析における計量器誤差と定量誤差	尾方 昇	24	6	259	1971
塩類の相律 (第1回)	岡 俊平	25	2	163	1971
塩類の相律 (第2回)	岡 俊平	25	3	207	1971
塩類の相律 (第3回)	岡 俊平	25	6	410	1972
アセチルセルロースの製造と性質	藪本 滋	27	2	115	1973
逆浸透膜について	増田 等	27	3	171	1973
逆浸透法の理論	山辺 武郎	27	4	235	1973
逆浸透法のプロセス設計	木村 尚史	27	5	295	1974
逆浸透法による海水淡水化技術	斉藤 博	27	6	341	1974
逆浸透法の応用	中根 堯	28	2	110	1974
計量法と量目管理について	加峯 正美, 住田 哲男	30	2	107	1976
イオン交換膜法製塩におけるスケールの生成と防止	杉田 静雄	30	3	157	1976

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
5. 報 文					

5.1 海かん水の濃縮および脱塩

(1) イオン交換膜法

シュリーレンダイヤゴナル法のイオン交換膜電気透析における境膜の研究への応用	武本 長昭	21	1	11	1967
カリウムイオンとカルシウムイオンの分離	武本 長昭, 橋本 壽夫, 島田 民子	21	1	15	1967
イオン交換透析に関する研究(第9報) イオン交換透析における塩素イオンと硫酸イオンの選択透過性	堂野 礼三, 安積 敬嗣, 高嶋 四郎	21	2	54	1967
塩化カルシウム溶液から塩化カリウムのイオン交換膜法による分離濃縮	緒方 英世, 武本 長昭, 田中 良修	21	2	63	1967
加水分解膜に関する研究(第1報) 複合イオン交換膜による食塩水の加水分解	安積 敬嗣, 白子 忠男, 堂野 礼三, 高嶋 四郎	21	3	98	1967
膜構造と2価イオン非透過性に関する研究(第1報) アルキレンアミン型陰イオン交換樹脂膜の合成製膜条件と2価イオン非透過性について	渡辺 政孝, 飯田 一夫, 中山 弘子, 須藤 久子	21	3	103	1967
イオン交換膜法におけるスケールに関する研究(第1報) 脱塩率とかん水組成	武本 長昭	21	6	235	1968
加水分解膜に関する研究(第2報) 陰イオンービニロン複合膜による食塩水の加水分解	安積 敬嗣, 白子 忠男, 高嶋 四郎	22	4	320	1968
イオン交換膜の選択透過性に関する研究(第3報) イオン交換膜中におけるイオン易動度の測定	山本 秀夫	22	4	323	1968
イオン交換膜の選択透過性に関する研究(第4報) イオン交換膜のイオン型と膜抵抗	半沢 信久, 鈴木 清, 山本 秀夫, 湯山 二男	22	5	342	1969
イオン交換紙電気泳動の研究	高井 信治, 妹尾 学, 山辺 武郎	22	6	379	1969
海水の淡水化に関する研究(第1報) イオン交換膜法による海水の脱塩	安積 敬嗣, 堂野 礼三, 白子 忠男, 高嶋 四郎, 石野 俊夫	22	6	383	1969
液状イオン交換体による膜電位の研究	高井 信治, 中村 利通, 山辺 武郎	22	6	392	1969
イオン交換膜透析装置に関する試験(第17報) 工業規模水槽型透析装置による長期濃縮試験	加峯 正美, 渡部 忠行, 畦地 昭二, 秋山 政夫, 永塚 敏, 藤本 好恵	23	1	3	1969
イオン交換透析に関する研究(第13報) 陽イオン交換膜の水素イオンとマグネシウムイオンの交換選択透過性	堂野 礼三, 安積 敬嗣, 高嶋 四郎	23	1	21	1969

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
イオン交換膜に関する研究(第18報) 選択性イオン交換膜を用いる海水の濃縮	堂野 礼三, 白子 忠男, 安積 敬嗣, 高嶋 四郎	23	1	26	1969
イオン交換膜海水濃縮法におけるスケールに関する研究(第2報) 濃縮側膜面付近における濃度分布	武本 長昭	23	2	54	1969
イオン交換膜透析装置に関する試験(第18報) 工業規模締付型透析装置の流動特性	畦地 昭二, 藤本 好恵	23	4	134	1970
イオン交換膜法による海水濃縮過程におけるフッ素の挙動	武本 長昭, 益子 公男, 瀬戸口 稔	23	6	276	1970
イオン交換膜法における濃縮操作に関する試験(第11報) 脱塩室と濃縮室の圧力平衡に関する考察	畦地 昭二	23	6	276	1970
イオン交換紙電気泳動の研究	高井 信治, 妹尾 学, 山辺 武郎	24	1	13	1970
イオン交換膜の同符号イオン選択透過性に関する物質移動モデルの数値計算	畦地 昭二	24	1	25	1970
イオン交換膜の同符号イオン選択透過性に関する物質移動モデルの数値計算(続)	畦地 昭二	24	2	54	1970
イオン交換膜法による高温高濃度液の透析(第1報) イオン交換膜透析における供給液濃度, 温度, 電流密度の濃縮特性におよぼす影響	渡部 忠行, 畦地 昭二, 田中 良修, 永塚 敏, 柚木 法子	24	3	104	1970
示差熱分析によるイオン交換樹脂の分離係数の測定	高井 信治, 岩瀬 鎬三, 山辺 武郎	24	4	154	1971
イオン交換膜法かん水組成の規則性	武本 長昭	24	5	213	1971
イオン交換膜法による高温高濃度液の透析(第2報) 大型装置による高温高濃度液の透析試験(その1)	田中 良修, 湯山 二男, 柚木 法子, 譲原 孝	25	3	189	1971
イオン交換膜海水濃縮法におけるスケールに関する研究(第3報) イオン交換膜法による酸添加海水の濃縮	武本 長昭	26	1	21	1972
イオン交換膜海水濃縮法におけるスケールに関する研究(第4報) 海水利用率と炭酸カルシウムスケールの析出	武本 長昭	26	1	26	1972
イオン交換膜海水濃縮法におけるスケールに関する研究(第5報) 炭酸系イオンの膜透過時の形態	武本 長昭	26	1	32	1972
イオン交換膜の選択透過性に関する研究(第5報) 給液添加剤による選択処理(その1) 給液添加剤によるイオン交換膜の選択処理	畦地 昭二, 山本 秀夫, 永塚 敏, 秋山 政夫, 伊丹 良夫	26	1	38	1972
イオン交換膜法による高温高濃度液の透析(第3報) 大型装置による高温高濃度液の透析試験(その2)	田中 良修	26	2	74	1972

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
イオン交換膜透析法における濃縮操作に関する試験(第12報) 酸添加法による炭酸カルシウムの析出防止	渡部 忠行, 山本 秀夫, 秋山 政夫, 柚木 法子	26	2	83	1972
イオン交換膜透析装置に関する試験(第22報) 水槽型装置による濃縮試験(その7) 工業規模水槽型透析装置の長期濃縮試験	畦地 昭二, 永塚 敏, 伊丹 良夫, 中静 素子	26	3	122	1972
イオン交換膜の選択処理に関する研究(第6報) 給液添加剤による選択処理(その2) 給液添加剤によるイオン交換膜の選択処理	畦地 昭二, 永塚 敏, 伊丹 良夫, 中静 素子	26	3	141	1972
イオン交換膜透析装置に関する試験(第23報) 締付型装置の改良に関する試験(その3) イオン交換膜透析装置に関する試験—締付型装置の改良	畦地 昭二, 藤本 好恵, 湯山 二男, 伊丹 良夫	26	5	244	1973
イオン交換膜海水濃縮法におけるスケールに関する研究(第10報) 海水中のスケール成分陰イオンのイオン交換膜透過性(その1)	武本 長昭, 林 恵子	27	2	85	1973
イオン交換膜海水濃縮法におけるスケールに関する研究(第11報) イオン交換膜電気透析法における炭酸カルシウムの析出条件と結晶形	武本 長昭	27	2	90	1973
イオン交換膜海水濃縮法におけるスケールに関する研究(第12報) 陽イオン交換膜の選択処理と水分解	武本 長昭	27	2	101	1973
イオン交換膜海水濃縮法におけるスケールに関する研究(第13報) イオン交換膜法における硫酸カルシウムスケールの析出条件	武本 長昭	27	3	157	1973
イオン交換膜海水濃縮法におけるスケールに関する研究(第14報) 透析条件の分布とスケールの析出	武本 長昭	27	4	208	1973
イオン交換膜に関する研究(第21報) 陰イオン交換膜に対するハロゲンイオンの輸率	堂野 礼三, 高田 邦章, 白子 忠男, 安積 敬嗣, 高嶋 四郎	27	4	216	1973
イオン交換膜に関する研究(第26報) イオン交換膜法による塩化亜鉛の濃縮	米田 昭夫, 中野 英彦, 安積 敬嗣	29	1	14	1975
イオン交換膜に関する研究(第27報) 陽イオン交換膜の抵抗に及ぼす対立イオンの影響	米田 昭夫, 安積 敬嗣	29	1	18	1975
イオン交換膜電気透析におけるイオンの移動におよぼす各種操作因子の影響	三好 浩文, 福元 次夫, 片岡 健	29	3	113	1975
イオン交換膜透析における限界電流密度	田中 良修	29	5	209	1976

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
電気透析における限界電流密度	三好 浩文, 福元 次夫, 片岡 健	30	1	14	1976
限界電流密度に及ぼす温度の影響	三好 浩文, 福元 次夫, 片岡 健	30	3	154	1976
電気透析法による脱塩海水の化学組成について	清水 和雄, 信田 和純	30	5・6	271	1977

(2) 逆浸透法

逆浸透圧法に用いるアセチルセルロース膜	神澤 千代志, 増田 等, 石坂 誠一	21	5	194	1968
逆浸透法による海水処理に関する研究(第1報) 逆浸透膜の特性	岡本 速雄, 山本 秀夫, 斉藤 博	21	6	245	1968
実験用逆浸透製膜装置の試作	斉藤 博, 堀合 喜郎	24	2	73	1968
逆浸透膜の水和に関する研究	山辺 武郎, 梅沢 香代子, 関山 繁利, 高井 信治	25	4	259	1972
逆浸透法による重金属塩の分離	中根 堯, 石坂 誠一	26	1	11	1972
ナイロンを用いる逆浸透膜の研究	吉田 章一郎, 高井 信治, 山辺 武郎	26	5	279	1973
アセチルセルロースの水和に関する研究	山辺 武郎, 関山 繁利, 高井 信治, 梅沢 香代子	28	3	175	1974
逆浸透プロセスにおける処理水質の簡易計算方法とその信頼度について	谷口 良雄, 恒川 正雄	30	1	50	1976
逆浸透用新型モジュールの試作	木村 尚史, 野村 剛志, 池田 元一	30	2	99	1976

(3) 真空式蒸発法

製塩における缶内液に関する研究(第13報) 製塩工場における塩田かん水の濃縮	増沢 力	23	4	154	1970
製塩における缶内液に関する研究(第14報) 製塩工場におけるイオン交換膜かん水の濃縮試験	増沢 力, 松尾 哲男, 天神 信美	23	4	162	1970
製塩における缶内液に関する研究(第15報) 製塩工場におけるイオン交換膜・塩田混合かん水の濃縮	増沢 力	23	6	246	1970

(4) フラッシュ蒸発法

フラッシュ蒸発装置における非平衡温度差とその経済的評価	佐藤 和男	24	4	157	1971
フラッシュ蒸発装置における有効温度差分布	中嶋 義弘, 田原 浩一	25	2	157	1971
フラッシュ蒸発過程における非平衡温度差の測定(第1報)	佐藤 和男, 神山 健次, 田原 浩一	25	3	198	1971
多段フラッシュ造水プラントの部分負荷再生平衡特性	早川 清重, 小西 一男, 佐鳥 英雄	25	6	387	1972
多段フラッシュ装置の最適化と感度的考察	佐藤 真二, 田原 浩一, 外山 茂樹, 菅田 孟	26	2	91	1972
フラッシュ蒸発に関する基礎的実験	宮武 修, 村上 憲太郎, 川田 陽一, 藤井 哲	26	4	189	1972

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海水濃縮におけるスケール防止に関する研究(第3報) 多段フラッシュ蒸発装置におけるスケール付着防止(その1)	石川 哲三, 杉田 静雄, 小野 充夫, 曾我 清己, 小橋 美佐江, 二宮 直義	27	4	226	1973
海水濃縮におけるスケール防止に関する研究(第4報) 多段フラッシュ蒸発装置におけるスケール付着防止(その2)	杉田 静雄, 石川 哲三, 小野 充夫, 曾我 清己, 小橋 美佐江, 二宮 直義	27	5	263	1973
蒸発法海水淡水化における原料海水中の汚濁物質の影響(第1報) 蒸発法海水淡水化装置におけるアンモニウムイオンの挙動	遣沢 哲夫, 白田 利勝, 大久保 悌二, 清水 和雄	28	3	168	1974
蒸発法海水淡水化における原料海水中の汚濁物質の影響(第2報) 蒸発法海水淡水化装置におけるフェノール類の挙動	遣沢 哲夫, 白田 利勝, 大久保 悌二, 清水 和雄	28	5	321	1975
蒸発法海水淡水化における原料海水中の汚濁物質の影響(第3報) 蒸発法海水淡水化における装置金属材料の溶出に対する海水中的アンモニウムイオンの影響	遣沢 哲夫, 大久保 悌二, 梶野 秀夫	28	5	342	1975
フラッシュ蒸発の非平衡温度差と蒸発促進器の効果	宮武 修, 藤井 哲, 田中 俊昭, 中岡 勉	28	6	386	1975
フラッシュ蒸発法海水淡水化による生成淡水の水質について	遣沢 哲夫	28	6	397	1975
多段フラッシュ蒸発装置におけるスポンジボール洗浄の最適洗浄操作	伊ヶ崎 文和, 外山 茂樹, 佐藤 真士, 菅田 孟	29	5	187	1976
フラッシュ蒸発に対する気泡核供給の影響	宮武 修, 田中 俊昭, 藤井 哲	29	5	228	1976
多段フラッシュ蒸発装置におけるフェノール類の挙動とその予測	白田 利勝, 根岸 章, 大久保 悌二, 後藤 藤太郎	29	6	255	1976
多段フラッシュ蒸発テストプラント用データ処理システムについて	佐藤 真士, 菅田 孟, 外山 茂樹, 遠山 武	30	2	87	1976

(5) 冷凍およびガスハイドレート法

ハイドレート法による海水, かん水の濃縮(第14報) 混合ハイドレート剤の相平衡について	斉藤 進	22	2	192	1968
ハイドレート剤について(補遺)	斉藤 進	22	2	209	1968
ハイドレート法による海水かん水の濃縮(第15報) 間接接触法による結晶成長について	斉藤 進	22	3	257	1968
プロパン-正ブタン-水系の水和物の生成平衡について	早野 市郎, 内田 隆	22	5	355	1969
ガスハイドレート法による海水, かん水の濃縮(第14報) キャリアーガス循環によるハイドレート剤の回収	斉藤 進, 飯島 正明	23	2	46	1969
海水の冷凍脱塩に関する研究(第4報) 重力脱液した湿潤粒子層の置換洗浄	川崎 成武	23	3	107	1969
プロパン-イソブタン-水系の水和物の平衡について	早野 市郎, 内田 隆	23	4	129	1970

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海水の冷凍脱塩に関する研究（第5報）重力脱液した氷粒子層の置換洗浄	川崎 成武, 大輪 優	23	6	256	1970
海水の冷凍脱塩に関する研究（第6報）氷粒子層の飽和域の高さと透過率	川崎 成武, 大輪 優	23	6	263	1970
海水の冷凍脱塩に関する研究（第7報）非洗浄操作における氷洗浄塔の特性	川崎 成武, 大輪 優	24	6	240	1971
海水の冷凍脱塩に関する研究（第8報）重力脱液過程における氷結晶の固定層ならびに移動層内の膜流れ	川崎 成武, 大輪 優	27	3	137	1973
海水の冷凍脱塩に関する研究（第9報）DCW型洗浄塔における氷結晶の洗浄	川崎 成武, 大輪 優	27	3	145	1973

(6) 副産物

苦汁よりホウ素の分離採取の研究（第4報）水酸化第二鉄に吸着するホウ素の脱離液よりイオン交換樹脂によるホウ素の分離について	村上 敏治, 石原 良雄	21	1	2	1967
金属リン酸塩によるカリウムの採取（第1報） $MgHPO_4 \cdot 3H_2O$ によるカリウムの吸着機構	松下 浩, 高木 輝実	22	6	369	1969
金属リン酸塩によるカリウムの採取（第2報） $MgHPO_4 \cdot 3H_2O$ によるカリウムの採取	松下 浩, 高木 輝実	23	3	98	1969
金属リン酸塩によるカリウムの採取（第3報）リン酸ジルコニウムによる海水, かん水中のカリウムの選択吸着	松下 浩, 高木 輝実	23	3	102	1969
沈殿法による海水中のウランの分離	高井 信治, 山辺 武郎	24	1	16	1970
海水中のウランの採取（第4報）チタン酸による人工海水中のウランの吸着	尾方 昇, 井上 信子, 垣花 秀武	24	2	68	1970
金属リン酸塩によるカリウムの採取（第4報）縮合リン酸ジルコニウムによるカリウムの採取	松下 浩, 高柳 淑子	24	3	96	1970
海水中のウラン採取（Ⅷ）チタン酸の一般的性質	尾方 昇, 井上 信子	24	4	149	1971
無機イオン交換体によるカリウムの採取（第5報）ジルコニウムと多塩基酸の酸性塩のイオン交換性	松下 浩, 高柳 淑子, 飯田 一夫	25	4	247	1972
無機イオン交換体によるカリウムの採取（第6報）無機イオン交換体による海水, かん水中のカリウムの選択吸着機構	松下 浩, 高柳 淑子	25	4	269	1972

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
無機イオン交換体によるカリウムの採取(第7報)無機イオン交換体のカリウムの選択吸着に及ぼす配合率の影響	松下 浩, 高柳 淑子	25	6	397	1972
複合吸着剤を用いる海水からウランの採取に関する研究(第3報)アルミニウム-活性炭系複合吸着剤の調製条件と性質	菅坂 和彦, 加藤 俊作, 藤井 綾子, 宮井 良孝, 高木 憲夫, 宮崎 秀甫	30	1	43	1976
複合吸着剤を用いる海水からウランの採取に関する研究(第4報)アルミニウム-活性炭系複合吸着剤によるウラン吸着	加藤 俊作, 菅坂 和彦, 藤井 綾子, 高木 憲夫, 宮井 良孝	30	3	118	1976

(7) 腐食防食

製塩装置の腐食および防食に関する試験(第11報)製塩装置材料の脱気による防食	長岡 幸男, 相田 四郎	26	6	305	1973
製塩装置の腐食および防食に関する試験(第12報)製塩工場におけるモデル加熱器によるステンレス鋼伝熱管の腐食試験	長岡 幸男, 相田 四郎	27	5	272	1974
製塩装置の腐食および防食に関する試験(第13報)外部電源法による製塩蒸発缶加熱器の防食	長岡 幸男, 伊豆浦 宏, 鍵和田 賢一	27	5	285	1974
海水の脱気・脱炭酸(第1報)充填塔による真空脱気について	小畑 健三郎, 杉野 邦雄, 田原 浩一	28	2	104	1974
海水淡水化装置の高温脱気生成水による鉄系材料の腐食	神田 幸雄, 梶野 秀夫, 中内 博二, 大里 一夫, 佐々木 英次	28	3	162	1974
海水の脱気・脱炭酸(第3報)液柱塔による真空脱気について	小畑 健三郎, 杉野 邦雄, 田原 浩一, 矢ヶ崎 隆義	29	5	218	1976

(8) その他

真空式製塩法における廃熱利用に関する試験(第2報)自然通風型冷濃塔の性能について	堺 嘉之, 西本 俊雄, 加戸 清治, 岡林 信夫	22	4	314	1968
媒体油の単一液柱による水蒸気の凝縮	中嶋 義弘, 和田 勝義, 田原 浩一	24	6	248	1971
堰式流量計による小流量の測定	中嶋 義弘, 中沢 宣明, 田原 浩一	26	6	330	1973
温度測定に関する2, 3の検討結果について	中嶋 義弘, 中沢 宣明, 田原 浩一	27	6	336	1974

5.2 海水および海水成分の化学

(1) 海水および海水成分の物性

塩基性炭酸マグネシウムの前駆状態	室谷 寛, 青木 秀希, 後藤 忠俊	22	6	365	1969
海中中のウラン採取(IX)海水成分の溶存形態	尾方 昇, 井上 信子, 垣花 秀武	24	1	19	1970
イオン交換膜カン水の比熱の測定	本山 正夫, 門田 稔, 岡 俊平	25	4	264	1972
各種濃度の水酸化アルカリ水溶液中の塩化ナトリウム, 塩化カリウムの同時溶解度の推定法	竹内 紀男, 後藤 藤太郎, 石坂 誠一	28	2	85	1974

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
無機塩水溶液の沸点上昇	白田 利勝, 後藤 藤太郎, 石坂 誠一	28	3	151	1974
海水の沸点上昇	白田 利勝, 後藤 藤太郎, 石坂 誠一	28	3	156	1974

(2) 分析法

リン酸マグネシウムアンモニウムの低温焼成によるリンあるいはマグネシウムの重量分析法	加野 直平, 青野 求	21	6	230	1968
ジクロロモノフルオルメタンの微量定量法 (1) 淡水中のジクロロモノフルオルメタンの定量	青木 利夫, 岡市 友利, 越智 正	22	2	199	1968
ジクロロモノフルオルメタンの微量定量法 (2) 海・かん水中のジクロロモノフルオルメタンの定量	青木 利夫, 岡市 友利, 越智 正	22	2	204	1968
海水中のリチウムの原子吸光分析	重松 恒信, 鈴木 利彦, 田伏 正之	22	5	348	1969
海水中のウラン採取 (V) 海水中のウランの分離および定量	尾方 昇, 井上 信子	23	4	148	1970
食塩水中の不溶解分定量	尾方 昇	25	4	287	1972
電導度による全炭酸自動分析	杉野 邦雄, 小畑 健三郎, 後藤 藤太郎	26	6	311	1973
原子吸光法によるかん水, 苦汁中のリチウムの定量	藤井 綾子, 菅坡 和彦, 宮崎 秀甫	27	2	96	1973
食用および工業用岩塩中の微量無機成分元素の原子吸光分析に関する研究 (第1報) 原子吸光分析法による食塩中のヒ素の微量定量	武者 宗一郎	27	5	255	1974
複合吸着剤による海水中のウラン採取に関する研究 (第1報) 蛍光X線分析法による複合吸着剤中のウラン量の測定	藤井 綾子, 宮井 良孝, 高木 憲夫, 菅坡 和彦, 宮崎 秀甫	27	6	309	1974
Improvement of Fluorimetric Determination of Uranium - Application to Fluorimetric Determination of Uranium in Sea Water-	Shiro Gohda	28	5	334	1975
海水の脱気・脱炭酸 (第2報) ウィンクラ法による海水中の微量溶存酸素定量	杉野 邦雄, 小畑 健三郎, 後藤 藤太郎	29	2	64	1975

(3) 相律

イオン交換法かん水の利用に関する試験 (第4報) 両イオン選択かん水, 混合かん水等の蒸発濃縮	松尾 哲男, 天神 信美	21	3	90	1967
イオン交換膜かん水の濃縮に関する試験 (第3報) イオン交換膜かん水の25℃における恒温蒸発の実験的検討 (その1)	本山 正夫, 岡 俊平	21	5	187	1968
イオン交換膜かん水に関する研究 (第1報) 食塩純度の高いイオン交換膜かん水の濃縮変化 (その1)	松尾 哲男, 武田 明子, 廣井 功, 齊藤 進	22	4	307	1968

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
製塩における缶内液に関する研究(第12報) 精製かん水の濃縮	増沢 力, 有田 正俊	23	2	59	1969
イオン交換膜かん水の濃縮に関する研究(第4報) イオン交換膜かん水の25°Cに於ける恒温蒸発の実験的検討(その2)	本山 正夫, 門田 稔, 岡 俊平	23	2	68	1969
天然ガスかん水に関する研究(第4報) 50°CにおけるMgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ O, NaCl-MgCl ₂ -H ₂ O, NaCl-MgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ O系の平衡について	真島 久之助, 手嶋 実枝, 岡 俊平	23	3	113	1969
海洋5成分系の平衡について	本山 正夫, 門田 稔, 岡 俊平	24	5	189	1971
イオン交換膜かん水に関する研究(第2報) イオン交換膜かん水の属する平衡系の塩化カリウム, カーナライト等の析出域	松尾 哲男, 武田 明子	25	2	129	1971
イオン交換水の濃縮に関する研究(第5報) 83°Cおよび110°Cにおける海洋塩5成分系の平衡について	本山 正夫, 門田 稔, 岡 俊平	25	2	141	1971
110°Cにおける海水濃縮過程について	本山 正夫, 門田 稔, 岡 俊平	25	4	241	1972
塩化カリウムと塩化カルシウムから成る複塩について	松尾 哲男, 武田 明子	25	6	406	1972
NaCl-KCl-MgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ O系の塩化ナトリウム晶出領域の塩濃度(その1)	本山 正夫, 門田 稔, 岡 俊平	26	1	16	1972
25°CにおけるNaCl-KCl-MgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ Oの相平衡	本山 正夫, 門田 稔, 岡 俊平	26	4	173	1972
天然ガスかん水に関する研究(第5報) 50°CにおけるKCl-MgCl ₂ -H ₂ O, NaCl-KCl-MgCl ₂ -H ₂ O, KCl-MgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ O系の平衡について	真島 久之助, 甲木 和子, 手嶋 実枝, 岡 俊平	26	4	199	1972
天然ガスかん水に関する研究(第6報) 50°CにおけるNaCl-KCl-MgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ O系の平衡について	真島 久之助, 甲木 和子, 手嶋 実枝, 岡 俊平	26	4	205	1972
天然ガスかん水に関する研究(第7報) 75°CにおけるNaCl-MgCl ₂ -H ₂ O, NaCl-CaCl ₂ -H ₂ O, NaCl-MgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ O系の平衡について	真島 久之助, 甲木 和子, 手嶋 実枝, 岡 俊平	27	3	164	1973
天然ガスかん水に関する研究(第8報) 75°CにおけるNaCl-KCl-MgCl ₂ -H ₂ O, NaCl-KCl-CaCl ₂ -H ₂ O系の平衡について	真島 久之助, 甲木 和子, 手嶋 実枝, 岡 俊平	27	6	315	1974
天然ガスかん水に関する研究(第9報) 75°CにおけるNaCl-KCl-MgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ O系の平衡について	真島 久之助, 甲木 和子, 手嶋 実枝, 岡 俊平	27	6	321	1974
NaCl-KCl-MgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ O系5成分系の平面表示法	本山 正夫, 門田 稔, 岡 俊平	28	3	146	1974
0°CにおけるNaCl-KCl-MgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ O系の相平衡	本山 正夫, 門田 稔, 岡 俊平	28	5	327	1975

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
NaCl-KCl-MgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ O系の塩化ナトリウム晶出領域の塩濃度 (その2)	本山 正夫, 門田 稔, 岡 俊平	28	5	347	1975
イオン製塩の相律 (その1) イオンかん水蒸発の相律的計算法の信頼度について	岡 俊平	29	2	46	1975
100°CにおけるNaCl-KCl-MgCl ₂ -CaCl ₂ -H ₂ O系の相平衡	本山 正夫, 門田 稔, 岡 俊平	30	1	26	1976
イオン製塩の相律 (Ⅱ) イオンかん水蒸発母液の冷却による塩類結晶の析出について (その1)	岡 俊平, 門田 稔, 本山 正夫	30	3	142	1976

(4) スケール

示差熱分析 (D. T. A) による溶存炭酸ガスの挙動の研究	山辺 武郎, 久保 誠, 高井 信治, 梅沢 香代子	24	4	163	1971
海水からアルカリスケールの生成とカルシウム成分の除去	室谷 寛, 後藤 忠俊, 雨宮 礼子, 小川 和夫, 服部 暁聖, 城野 勝博	24	5	183	1971
海水濃縮におけるスケール防止に関する研究 (第1報) 海水濃縮における炭酸物質の挙動	杉田 静雄	25	6	378	1972
イオン交換膜法かん水における炭酸カルシウムの析出	山本 秀夫, 柚木 法子	26	2	66	1972
イオン交換膜法かん水の缶石に関する研究 (第4報) イオン交換膜かん水および濃縮イオン交換膜かん水中の硫酸カルシウムの溶解度	曾我 清己, 井上 信子, 鍵和田 賢一	26	4	181	1972
イオン交換膜法製塩におけるスケール防止に関する研究 (第4報) 縮合リン酸ナトリウムのCaSO ₄ ·1/2H ₂ OおよびNa ₂ SO ₄ ·5CaSO ₄ ·3H ₂ Oに対する析出抑制	杉田 静雄	27	2	106	1973
海水濃縮におけるスケール防止に関する研究 (第2報) 種晶と水酸化カルシウムによる全炭酸塩の分解	杉田 静雄	27	4	220	1973
海水濃縮におけるスケール防止に関する研究 (第5報) アルカリスケールの生成に及ぼす添加物の影響	杉田 静雄, 鍵和田 賢一	30	1	20	1976

(5) 微量成分

にがり中のリチウムの濃縮について	村上 敏治, 上杉 勝弥	21	1	7	1968
食塩中の微量成分に関する研究 (第16報) 食塩中の亜硝酸および硝酸含有量について	清水 和雄, 金子 和子	21	4	135	1967
海水中のイットリウム, 希土類元素	重松 恒信	21	6	241	1968
海水濃縮過程の亜鉛およびコバルトの挙動	重松 恒信, 田伏 正之, 上杉 勝弥	22	5	351	1969

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
海水中の溶存有機物の化学的性質	越智 正, 岡市 友利	26	3	150	1972
(6) 海水汚染					
海水中の汚染物質の気液平衡関係 (第1報) アンモニア-水系の気液平衡関係	白田 利勝	28	5	353	1975
海水中の汚染物質の気液平衡関係 (第2報) フェノール系物質-水系の気液平衡関係	白田 利勝	28	6	379	1975
海水中の汚染物質の気液平衡関係 (第3報) 海水中の汚染物質の気液平衡関係	白田 利勝, 根岸 章, 後藤 藤太郎	29	6	247	1976
沿岸海水汚染と硫酸塩還元細菌	中原 東郎, 佐々木 英治, 神田 幸雄, 梶野 秀夫	30	3	133	1976
(7) 塩の品質					
食塩の固結機構について (第8報) マグネシウム処理海水の異常固結について	増沢 力	21	2	57	1967
食塩の色相 (第1報) 食塩の色相表示について	尾方 昇, 井上 信子	21	5	181	1968
塩の固結防止に関する研究 (第10報) クエン酸鉄アンモニウム (FAC) の組成と固結防止効果	米井 祥男, 増沢 力	26	5	265	1973
塩の固結防止に関する研究 (第11報) ニトリロトリアセトアミド (NTAアミド) の固結防止効果	米井 祥男, 鍵和田 賢一, 増沢 力	26	5	273	1973
塩の固結防止に関する研究 (第12報) 精製塩積付け塩袋中の固結強さの分布について	増沢 力, 加峯 正美	26	6	323	1973
塩の固結防止に関する研究 (第13報) マグネシウムおよび水分の固結におよぼす影響	増沢 力, 米井 祥男	27	4	199	1973
製塩における缶内液に関する研究 (第24報) オーストラリア天日塩の結晶中および結晶表面の不純物について	増沢 力, 松本 多恵子	27	6	327	1974
塩の固結防止に関する研究 (第14報) 塩の不純物の固結におよぼす影響	増沢 力, 米井 祥男	28	2	98	1974
製塩における缶内液に関する研究 (第25報) 最近の国内生産塩の品質	増沢 力, 松本 多恵子	29	2	56	1975
製塩における缶内液に関する研究 (第26報) 中国天日塩の結晶中および結晶表面の不純物について	増沢 力, 松本 多恵子, 葦山 ひとみ	29	3	105	1975
製塩における缶内液に関する研究 (第27報) 韓国天日塩の品質と塩田母液組成	増沢 力, 米井 祥男, 松本 多恵子	29	5	199	1976

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
食塩の品質に関する研究(第1報) 食塩のpH, アルカリ度の測定方法の検討と測定結果について	杉田 静雄, 葦山 ひとみ	30	1	35	1976
製塩における缶内液に関する研究(第29報) 中国天日塩の品質と塩田母液組成	増沢 力, 松本 多恵子, 葦山 ひとみ	30	3	124	1976

(8) その他

NaOH-KOH-H ₂ O系におけるNaOH・3.5H ₂ Oの融点	早野 市郎, 後藤 藤太郎, 石坂 誠一	24	6	253	1971
固形含水酸化鉄の生成条件と吸着性	天野 一雄, 及川 治, 岡 俊平	25	2	147	1971
NaOH・3.5H ₂ Oの晶出速度に関する研究	竹内 紀男, 後藤 藤太郎, 石坂 誠一	26	6	316	1973
NaOH-KOH-NaCl-H ₂ O系におけるNaOH・3.5H ₂ Oの消失(析出)温度および塩化ナトリウムの挙動について	早野 市郎, 後藤 藤太郎	29	6	261	1976
可溶性塩類の浮選に関する研究(第1報) 可溶性塩類の浮選における界面活性剤濃度と臨界pHとの関係	大川原 武, 門田 稔, 岡 俊平	30	2	82	1976

6. 総合論文

冷媒直接接触式冷凍法による塩水転換の基礎的研究	内田 隆	21	4	147	1967
海塩中の硫酸根の分析	江川 勉	22	3	272	1968
海水中のウラン採取に関する基礎研究	尾方 昇	24	5	197	1971
海水より塩類結晶析出についての相律的研究(その1)	門田 稔	29	2	74	1975
海水より塩類結晶析出についての相律的研究(その2)	門田 稔	29	6	271	1976

7. 特集記事

7.1 日本における塩水淡水化の現状

塩水淡水化技術の開発によせて	鈴木 春夫	22	1	1	1968
総論 海水淡水化の現状	鈴木 篁	22	1	6	1968
総論 塩水淡水化と副産物	岡 俊平	22	1	12	1968
各論 イオン交換膜電気透析法(総括)	山辺 武郎	22	1	18	1968
各論 イオン交換膜電気透析法(実施例)	糸井 滋	22	1	26	1968
各論 イオン交換膜電気透析法(実施例)	加藤 正明	22	1	32	1968
各論 イオン交換膜電気透析法(実施例)	谷口 良雄, 小川 彰一, 尾上 康治, 山根 礼一	22	1	38	1968
各論 フラッシュ蒸溜法(基礎)	石川 哲三	22	1	48	1968
各論 フラッシュ蒸溜法(応用)	橋本 静雄	22	1	57	1968

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
各論 発電および造水プラント	松原 武徳	22	1	72	1968
各論 真空および加圧式蒸溜法	橋爪 正男	22	1	85	1968
各論 冷凍法	内田 隆	22	1	101	1968
各論 ガス・ハイドレート法	斉藤 進	22	1	114	1968
各論 逆浸透法	岡本 速雄	22	1	125	1968
各論 塩水淡水化とスケール	杉田 静雄	22	1	137	1968

7.2 第6回海水淡水化日米会議

本会議への概要報告 わが国の脱塩技術の現状	石坂 誠一	23	5	181	1970
本会議への概要報告 合衆国における脱塩技術の現状	W. S. Gillam	23	5	183	1970
蒸溜法についての専門会議 塩水局における蒸発法の開発	Chung-ming Wong	23	5	185	1970
蒸溜法についての専門会議 Clair Engle プラント (100万GPD 多重効用多段フラッシュ脱塩プラント) の成績	A. Steinbruchel	23	5	188	1970
蒸溜法についての専門会議 クエートにおける脱塩の歴史	R. A. Baker	23	5	191	1970
蒸溜法についての専門会議 海水淡水化に関する大型プロジェクトによる研究	田原 浩一	23	5	195	1970
蒸溜法についての専門会議 フラッシュ蒸発装置に関するプロセス工学的研究	外山 茂樹	23	5	198	1970
蒸溜法についての専門会議 海水蒸溜におけるスケール付着防止法	中山 道夫	23	5	202	1970
逆浸透についての専門会議 膜法による脱塩	U. Merten	23	5	206	1970
逆浸透法についての専門会議 逆浸透圧法の研究	鈴木 彰	23	5	209	1970
結晶化についての専門会議 O. S. Wにおける冷凍法の開発現状	W. J. Hahn	23	5	213	1970
結晶化についての専門会議 直接接触冷凍法	内田 隆	23	5	218	1970
結晶化についての専門会議 日本におけるハイドレート法に関する研究の現状	中山 道夫	23	5	221	1970
副産物利用についての専門会議 海かん水から得られる副産物	W. S. Gillam	23	5	224	1970
副産物利用についての専門会議 カリウム回収法	後藤 藤太郎	23	5	228	1970
副産物利用についての専門会議 海水淡水化プラントからの排出かん水の利用	渡部 忠行	23	5	232	1970

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
7.3 欧米における海水淡水化の現状 — 調査報告 —					
第1編 海水淡水化海外調査団報告 I 総論 1. 海水淡水化方法の概要		25	1	8	1971
第1編 海水淡水化海外調査団報告 I 総論 2. 海水淡水化の現状		25	1	13	1971
第1編 海水淡水化海外調査団報告 II 各論 1. クウェート		25	1	20	1971
第1編 海水淡水化海外調査団報告 II 各論 2. 第3回国際海水淡水化シンポジウム (ユーゴスラビア)		25	1	28	1971
第1編 海水淡水化海外調査団報告 II 各論 3. イタリア		25	1	45	1971
第1編 海水淡水化海外調査団報告 II 各論 4. イギリス		25	1	47	1971
第1編 海水淡水化海外調査団報告 II 各論 5. アメリカ		25	1	58	1971
第2編 第7回塩水淡水化日米会議資料 1. 日本の淡水化技術の現状	石坂 誠一	25	1	85	1971
第2編 第7回塩水淡水化日米会議資料 2. フラッシュ蒸発法に関するプロセス工学的研究	田原 浩一	25	1	87	1971
第2編 第7回塩水淡水化日米会議資料 3. 海水蒸留工程で析出するスケールの化学組成	中山 道夫	25	1	91	1971
第2編 第7回塩水淡水化日米会議資料 4. 蒸発法淡水化プロセスについて	P. G. Tomalin	25	1	94	1971
第2編 第7回塩水淡水化日米会議資料 5. 膜法プロセスについて	K. C. Channabasappa	25	1	95	1971
第3編 海水淡水化国際シンポジウム講演集 (抄録) 第1巻 海水の性質, 蒸留法等		25	1	99	1971
第3編 海水淡水化国際シンポジウム講演集 (抄録) 第2巻 イオン法		25	1	106	1971
第3編 海水淡水化国際シンポジウム講演集 (抄録) 第3巻 冷凍法		25	1	112	1971
第3編 海水淡水化国際シンポジウム講演集 (抄録) 第4巻 その他		25	1	118	1971
7.4 第8回海水淡水化日米会議					
巻頭記事 特集号によせて	石坂 誠一	25	5	304	1972
本会議への概要報告 わが国における海水淡水化技術の現状	田原 浩一	25	5	307	1972
本会議への概要報告 米国における脱塩技術の現状	J. R. Smith	25	5	310	1972

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
蒸発法に関する専門会議 テキサス州フリーポートにおける試験プラントの運転	R. H. Evans	25	5	312	1972
蒸発法に関する専門会議 海水淡水化大型プロジェクトにおける多段フラッシュ蒸発装置に関する研究の現状	外山 茂樹	25	5	314	1972
蒸発法に関する専門会議 オレンジ郡の蒸発法モジュールについて (カリフォルニア州フォンテン溪谷)	R. H. Evans	25	5	317	1972
蒸発法に関する専門会議 フラッシュ蒸発缶用伝熱管材料に関する試験と研究	梶野 秀夫	25	5	326	1972
蒸発法に関する専門会議 多段フラッシュ蒸発法前処理システムおよび材料	R. A. Tidball	25	5	332	1972
蒸発法に関する専門会議 淡水化装置用コンクリートの試験	藤井 欽二郎	25	5	337	1972
冷凍法, 副産物利用に関する専門会議 冷凍法に関する研究	川崎 成武	25	5	341	1972
冷凍法, 副産物利用に関する専門会議 廃かん水からの副産物回収法について	後藤 藤太郎	25	5	345	1972
冷凍法, 副産物利用に関する専門会議 イオン交換膜法製塩技術について	中山 道夫	25	5	349	1972
膜法に関する専門会議 淡水化用逆浸透法の最近の進歩	W. S. Gillam	25	5	352	1972
膜法に関する専門会議 日本における逆浸透法の研究および応用の現状について	鈴木 彰	25	5	357	1972
膜法に関する専門会議 ホローファイバーによる逆浸透法	R. M. Glover	25	5	363	1972
膜法に関する専門会議 チューブ型浸透膜の製造法	渡部 忠行	25	5	365	1972
膜法に関する専門会議 管式逆浸透装置による海水の脱塩	E. R. Rovers	25	5	367	1972
関連行事 第8回日米脱塩会議てんまつ記	後藤 藤太郎	25	5	372	1972
関連行事 「海水淡水化技術講演会」報告	外山 茂樹	25	5	374	1972

7.5 第9回海水淡水化日米会議

序言 第9回日米脱塩パネル合同会議に出席して	石坂 誠一	27	1	1	1973
講演 米国の淡水化計画の現状	J. J. Strobel	27	1	4	1973
講演 日本の淡水化の現状	石坂 誠一	27	1	6	1973
講演 逆浸透圧法の進歩	W. S. Gillam	27	1	10	1973
講演 淡水化プロセスのためのコンクリート実験	藤井 欽二郎, 野尻 陽一	27	1	14	1973
講演 海水淡水化装置用ポリマーコンクリートの開発	E. J. Meeks	27	1	21	1973
講演 新しい45m ³ /day冷凍法装置の概要	長島 義悟	27	1	34	1973

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
講演 冷凍脱塩プロセス	S. Johnson	27	1	39	1973
講演 海水蒸溜におけるスケールの付着防止	丹野 和夫	27	1	43	1973
講演 スケールコントロールと汚れ防止	P. C. Scott	27	1	48	1973
講演 電気透析法による排出ブラインの濃縮	浅輪 達郎	27	1	54	1973
見学記 米国周辺の淡水化プラント	中島 博	27	1	59	1973
見学記 膜の開発	浅輪 達郎	27	1	68	1973
見学記 米国開拓局技術研究センターを訪れて	野尻 陽一	27	1	72	1973

7.6 第10回海水淡水化日米会議

巻頭記事 第10回海水淡水化日米合同部会開催にあたって	松本 敬信	28	1	1	1974
巻頭記事 特集号によせて	石坂 誠一	28	1	2	1974
本会議への概要報告 日本の淡水化の現状	加藤 順	28	1	4	1974
本会議への概要報告 米国塩水局 (OSW) 活動の状況	J. J. Strobel	28	1	8	1974
蒸発法に関する専門会議 多段式フラッシュ機構の解明と最適化設計研究	外山 茂樹	28	1	13	1974
蒸発法に関する専門会議 淡水化装置用伝熱管材料の試験	柘野 秀夫	28	1	18	1974
蒸発法に関する専門会議 コンクリート蒸発缶体の設計	野尻 陽一, 藤井 欽二郎	28	1	22	1974
冷凍法に関する専門会議 直接冷凍法の理論的根拠とその現状	W. E. Johnson	28	1	26	1974
冷凍法に関する専門会議 ブタン冷凍法	川崎 成武, 長島 義悟	28	1	31	1974
膜法およびその他に関する専門会議 日本における水資源問題	後藤 藤太郎	28	1	35	1974
膜法およびその他に関する専門会議 膜プロセスの概況	W. F. Savage	28	1	41	1974
膜法およびその他に関する専門会議 日本における逆浸透法の研究と開発の現状	中根 堯	28	1	46	1974
膜法およびその他に関する専門会議 高濃度塩水に用いる逆浸透用新中空繊維	W. W. Ranson, W. J. Godfrey Jr.	28	1	52	1974
膜法およびその他に関する専門会議 逆浸透法の工業および都市排水処理技術への応用	H. E. Redd	28	1	57	1974
膜法およびその他に関する専門会議 500m ³ /日逆浸透プラントの運転実績と逆浸透	木村 尚史	28	1	63	1974
膜法およびその他に関する専門会議 膜プロセスにおける前処理について	G. Hoche, L. B. Luttinger	28	1	70	1974
関連行事 日米会議余録Q&A		28	1	78	1974
関連行事 「海水淡水化技術講演会」報告	渡部 忠行	28	1	81	1974

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
7.7 欧亜における海水淡水化の現状 — 調査報告 —					
第1編 調査団概要 1. 日本海水学会欧亜調査団団員名簿		28	4	196	1974
第1編 調査団概要 2. 調査団日程		28	4	196	1974
第1編 調査団概要 3. 訪問先一覧		28	4	199	1974
第1編 調査団概要 4. 準備		28	4	200	1974
第2編 第4回海水淡水化国際シンポジウム 1. 概要		28	4	202	1974
第2編 第4回海水淡水化国際シンポジウム 2. 発表論文概説 2.1 蒸発		28	4	206	1974
第2編 第4回海水淡水化国際シンポジウム 2. 発表論文概説 2.2 前処理		28	4	207	1974
第2編 第4回海水淡水化国際シンポジウム 2. 発表論文概説 2.3 装置材料		28	4	208	1974
第2編 第4回海水淡水化国際シンポジウム 2. 発表論文概説 2.4 膜プロセス		28	4	212	1974
第2編 第4回海水淡水化国際シンポジウム 2. 発表論文概説 2.5 冷凍脱塩		28	4	214	1974
第2編 第4回海水淡水化国際シンポジウム 2. 発表論文概説 2.6 淡水化一般		28	4	217	1974
第2編 第4回海水淡水化国際シンポジウム 3. 発表論文抄録		28	4	219	1974
第3編 1. 施設別報告 1.1 DDS社		28	4	276	1974
第3編 1. 施設別報告 1.2 テルヌーゼン海水淡水化プラント		28	4	278	1974
第3編 1. 施設別報告 1.3 タラント海水淡水化プラント		28	4	280	1974
第3編 1. 施設別報告 1.4 ツーロン海水淡水化研究所		28	4	282	1974
第3編 1. 施設別報告 1.5 クウェート海水淡水化プラント		28	4	285	1974
第3編 1. 施設別報告 1.6 香港政庁海水淡水化プラント		28	4	288	1974
第3編 1. 施設別報告 1.7 イスラエル淡水化施設および研究所		28	4	292	1974
第3編 2. 分野別報告 2.1 蒸発		28	4	295	1974
第3編 2. 分野別報告 2.2 前処理		28	4	296	1974
第3編 2. 分野別報告 2.3 装置材料		28	4	298	1974
第3編 2. 分野別報告 2.4 膜プロセス		28	4	302	1974
第3編 2. 分野別報告 2.5 冷凍法		28	4	302	1974
第3編 2. 分野別報告 2.6 淡水化一般		28	4	306	1974

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
 昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
第4編 調査団所感 1. 調査団印象記		28	4	310	1974
第4編 調査団所感 2. イスラエル訪問記		28	4	312	1974
7. 8 日中塩業技術交流団報告					
報告1 緒言		29	4	130	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.1 自然条件		29	4	136	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.2 塩田配置		29	4	136	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.3 塩田土壌		29	4	137	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.4 年間操作方法		29	4	137	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.5 海水取水場		29	4	138	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.6 結晶池の作業方法		29	4	139	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.7 プラスチックフィルムの利用		29	4	140	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.8 電動索引方式		29	4	141	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.9 スラリー輸送方式(管導方式)		29	4	141	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.10 機械採塩		29	4	143	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.11 活さ		29	4	144	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.12 粘土, せっこうの混入		29	4	144	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.13 品質向上対策		29	4	145	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.14 塩堆場		29	4	146	1975
報告2 塘沽塩場の現況 2.15 その他の資料		29	4	147	1975
報告3 天津市製塩工業研究所		29	4	147	1975
報告4 塩業技術交流 4.1 オーストラリア塩田の概要について		29	4	147	1975
報告4 塩業技術交流 4.2 イオン交換膜法による海水濃縮について		29	4	148	1975
報告4 塩業技術交流 4.3 真空式蒸発管について		29	4	148	1975
報告4 塩業技術交流 4.4 中国産天日塩の品質について		29	4	149	1975
報告4 塩業技術交流 4.5 海水からの臭素の採取について		29	4	149	1975
報告4 塩業技術交流 4.6 海水ウラン採取の研究状況について		29	4	149	1975
報告4 塩業技術交流 4.7 日中の資料交換について		29	4	149	1975
報告5 中国塩の品質に関する事前調査		29	4	150	1975
報告6 その他 6.1 南開大学		29	4	153	1975
報告6 その他 6.2 中国科学院・中国農学会		29	4	153	1975
報告6 その他 6.3 大港油田		29	4	153	1975

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
報告6 その他 6.4 天津市針織廠		29	4	154	1975
報告7 塩業に対する交流団の意見 7.1 かん水, 母液の濃度と組成		29	4	155	1975
報告7 塩業に対する交流団の意見 7.2 塩田地盤		29	4	157	1975
報告7 塩業に対する交流団の意見 7.3 電動索引方式による採塩		29	4	158	1975
報告7 塩業に対する交流団の意見 7.4 管導方式輸送		29	4	159	1975
報告7 塩業に対する交流団の意見 7.5 採塩機械と運搬機械		29	4	159	1975
報告7 塩業に対する交流団の意見 7.6 防塵対策		29	4	161	1975
報告7 塩業に対する交流団の意見 7.7 品質		29	4	161	1975
報告7 塩業に対する交流団の意見 7.8 海水取入れの工夫		29	4	163	1975
報告7 塩業に対する交流団の意見 7.9 地盤浸透の調査		29	4	163	1975
報告7 塩業に対する交流団の意見 7.10 活さ		29	4	164	1975
報告7 塩業に対する交流団の意見 7.11 かん水, 塩試料採取		29	4	165	1975
報告8 結語 8.1 今回の交流についての反省事項		29	4	165	1975
報告8 結語 8.2 交流の成果		29	4	166	1975
報告8 結語 8.3 今後に残された問題		29	4	167	1975
添付資料		29	4	170	1975
交流団印象記		29	4	174	1975

7.9 脱塩技術海外調査団 — 第5回海水淡水化国際シンポジウムの参加と海外脱塩プラント視察 —

第1編 調査団概要 1. 団員名簿		30	4	177	1977
第1編 調査団概要 2. 共催者		30	4	179	1977
第1編 調査団概要 3. 調査日程		30	4	179	1977
第2編 第5回海水淡水化国際シンポジウム 1. 概要		30	4	183	1977
第2編 第5回海水淡水化国際シンポジウム 2. 発表論文集		30	4	183	1977
第2編 第5回海水淡水化国際シンポジウム 3. 参加者		30	4	184	1977
第2編 第5回海水淡水化国際シンポジウム 4. 日程		30	4	184	1977
第2編 第5回海水淡水化国際シンポジウム 5. 国際会議発表論文の解説 5.1 蒸発法		30	4	184	1977
第2編 第5回海水淡水化国際シンポジウム 5. 国際会議発表論文の解説 5.2 材料		30	4	196	1977

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
第2編 第5回海水淡水化国際シンポジウム 5. 国際会議発表論文の解説 5.3 膜法－電気透析		30	4	202	1977
第2編 第5回海水淡水化国際シンポジウム 5. 国際会議発表論文の解説 5.4 膜法－逆浸透		30	4	207	1977
第2編 第5回海水淡水化国際シンポジウム 5. 国際会議発表論文の解説 5.5 冷凍法		30	4	215	1977
第3編 日本エジプト脱塩技術フォーラム 1. 概要		30	4	220	1977
第3編 日本エジプト脱塩技術フォーラム 2. プログラム		30	4	220	1977
第3編 日本エジプト脱塩技術フォーラム 3. 発表論文の概要		30	4	221	1977
第4編 訪問施設調査 1. ポート・トーレ蒸発法プラント		30	4	229	1977
第4編 訪問施設調査 2. トリポリ西火力発電所蒸発法プラント		30	4	233	1977
第4編 訪問施設調査 3. ベンガジ北火力発電所蒸発法プラント		30	4	235	1977
第4編 訪問施設調査 4. ベンガジ市電気透析法脱塩プラント		30	4	236	1977
第4編 訪問施設調査 5. ジェッタ蒸発法プラント		30	4	240	1977
第4編 訪問施設調査 6. 海水淡水化プラントの海水取水設備の現況		30	4	243	1977
第5編 入手資料 1. トリポリ		30	4	247	1977
第5編 入手資料 2. ジェッタ		30	4	251	1977
第6編 調査団雑感		30	4	254	1977
8. 資料その他					

8.1 資料

高温化における多段フラッシュ (MSF) モジュールの運転	R. M. Evans	25	6	426	1972
第4回原子力平和利用国際会議における淡水化研究発表の紹介	馬野 周二	26	2	103	1972
逆浸透法による水処理技術研究開発調査団報告		26	4	210	1972
用水および廃水処理におけるスパイラル型逆浸透装置の性能と実用例	谷口 良雄, S. S. Kremen	26	5	282	1973
発電・造水二重目的用VTE装置の構成	E. R. Roberts, D. D. Kays	26	6	335	1973
飽和水および飽和蒸気の状態量の簡易表示式	佐藤 和男	28	3	182	1974
中近東諸国の海水淡水化事情について	佐藤 真士	29	5	232	1976
米国における海水淡水化研究施設訪問記	後藤 藤太郎	29	6	290	1976

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
日本海水学会後援メキシコ国際会議を中心とした淡水化技術海外調査団調査概要	大矢 晴彦	30	5・6	278	1977
低温エネルギー利用の新淡水化技術	岩本 幸三, 川上 操六	30	5・6	292	1977
「新しい膜技術研究会」について		30	5・6	299	1977

8.2 文献紹介

Chemical Abstracts Vol. 64, No. 7～13 (1966)	廣井 功	21	1	30	1967
Chemical Abstracts Vol. 65, No. 1～6 (1966)	武本 長昭	21	3	111	1967
Chemical Abstracts Vol. 65, No. 7～13 (1966)	斉藤 進	21	4	161	1968
Chemical Abstracts Vol. 66, No. 1～14 (1967)	廣井 功	21	6	252	1968
Chemical Abstracts Vol. 66, No. 15～26 (1967)	武本 長昭	22	2	215	1968
Chemical Abstracts Vol. 67, No. 1～12 (1967)	廣井 功	23	3	118	1969
Chemical Abstracts Vol. 67, No. 13～26 (1967)	松尾 哲男	24	2	76	1970
Chemical Abstracts Vol. 68, No. 1～26 (1968)	武本 長昭	24	4	166	1971
Chemical Abstracts Vol. 70, No. 1～12 (1969)	廣井 功	24	5	220	1971
Chemical Abstracts Vol. 70, No. 13～26 (1969)	松尾 哲男	25	3	219	1971
Chemical Abstracts Vol. 71, No. 1～12 (1969)	廣井 功	26	2	113	1972
Chemical Abstracts Vol. 71, No. 13～26 (1969)	松尾 哲男	26	3	156	1972
Chemical Abstracts Vol. 72, No. 1～12 (1970)	武本 長昭	26	6	290	1973
製塩関係特許抄録	中谷 守也	21	2	71	1967
製塩関係特許抄録	中谷 守也	21	5	212	1968
製塩関係特許抄録	中谷 守也	22	2	212	1968
製塩関係特許抄録	中谷 守也	22	4	327	1968
製塩関係特許抄録	中谷 守也	22	6	395	1969
製塩関係特許抄録	中谷 守也	23	1	31	1969
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	24	5	228	1971
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	24	6	279	1971
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	25	2	176	1971
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	25	3	226	1971
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	25	4	291	1972
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	25	6	430	1972
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	26	1	49	1972
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	26	4	223	1972

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	26	6	348	1973
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	27	2	123	1973
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	27	3	188	1973
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	27	4	244	1973
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	27	6	350	1974
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	28	2	125	1974
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	28	5	360	1975
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	28	6	401	1975
製塩関係特許抄録	桜井 照夫	29	1	22	1975
米国塩水局 : R. & D. Prog. Report		24	3	129	1970
米国塩水局レポート等		24	5	217	1971
米国塩水局レポート等		25	4	296	1972
OSWレポート等		25	6	435	1972
OSWレポート等		26	3	161	1972
OSWレポート等		27	3	192	1973
OSWレポート等		28	5	366	1975
OSWレポート等		29	3	118	1975

8.3 ニュース

第18年会におけるアンケートの結果等		21	2	73	1967
イオン交換膜法の企業化等		21	3	120	1967
最近のイオン交換膜法による海水脱塩の研究		21	4	169	1967
第9回海水技術研修会について等		21	6	260	1968
塩水淡水化に関するレポート紹介		22	1	149	1968
米国塩水局発行文献目録		22	2	223	1968
塩水の淡水化に関するレポート紹介		22	3	287	1968
米国塩水局レポートの文献目録		23	5	236	1970
塩水の淡水化に関するレポート紹介		24	1	37	1970
塩水の淡水化に関するレポート紹介		24	2	82	1970
最新の脱塩プラント情報		24	3	132	1970
特許法, 実用新案法改正の要点		24	4	177	1971
塩水の淡水化に関するレポート紹介		24	5	232	1971
塩水の淡水化に関するレポート紹介		25	2	181	1971

日本海水学会誌 第21巻～第30巻 総目次
昭和42(1967)年～昭和52(1977)年

表 題	著 者	巻	号	頁	年
塩水の淡水化に関するレポート紹介		25	3	232	1971
塩水の淡水化に関するレポート紹介		25	4	298	1972
塩水の淡水化に関するレポート紹介		26	1	55	1972
塩水の淡水化に関するレポート紹介		26	3	168	1972
塩水の淡水化に関するレポート紹介		26	5	297	1973
塩水の淡水化に関するレポート紹介		28	6	407	1975
塩水の淡水化に関するレポート紹介		30	1	54	1976

8.4 会員寄書

鈴木寛博士を追悼しその偉業を憶う	永美 益夫	26	2	101	1972
塩田製塩よりイオン製塩へ —とくに化学的管理の必要について—	永美 益夫	27	5	300	1974
福島正男さんの塩業歴	永美 益夫	30	3	167	1976

8.5 特別座談会

永井彰一郎先生を偲んで		24	3	89	1970
-------------	--	----	---	----	------